

Ⅱ 重点事業報告

館名	事業名	頁
中央・こども図書館	1 地域資料の充実	8
	2 区内で活動する様々な人々・団体・企業等の活動支援 ／区民との協働	9
	3 読書環境の充実／区立図書館の利用推進	10
四谷図書館	1 魅力あるイベントの実施	11
	2 外国人に対する支援／読書環境の充実	12
	3 読書環境の充実	13
鶴巻図書館	1 地域資料の充実	14
	2 情報の生産・発信・交流の支援	15
	3 学校等との連携	16
西落合図書館	1 魅力あるイベントの実施	17
	2 新宿区子ども読書活動推進計画	18
	3 区民の課題解決支援／博物館・大学等との連携	19
戸山図書館	1 障害者に対する支援	20
	2 高齢者に対する支援	21
	3 地域資料の充実	22
北新宿図書館	1 外国人に対する支援	23
	2 区内で活動する様々な人々・団体・企業等の活動支援	24
	3 読書活動への支援	25
中町図書館	1 地域資料の充実	26
	2 区民の課題解決支援	27
	3 読書活動への支援／身近な場所の読書環境の整備	28
角筈図書館	1 資料の充実	29
	2 学校等との連携	30
	3 多様な学習機会の提供／魅力あるイベントの実施	31
大久保図書館	1 魅力あるイベントの実施	32
	2 読書環境の充実／外国人に対する支援	33
	3 魅力あるイベントの実施	34
下落合図書館	1 絵本でふれあう子育て支援／読書環境の充実	35
	2 高齢者に対する支援／区民の課題解決支援	36
	3 地域資料の充実／魅力あるイベントの実施	37

重点事業報告（中央・こども図書館 1）

重点事業名	2 地域資料の充実
■事業目的 新宿区ゆかりのマンガや文豪などの地域資料の収集に取り組みます。	
■事業内容 ①新宿区ゆかり文豪などの著作物等を積極的に収集 ②地域資料（地域資料マンガを含む）の収集 ③収集した地域資料を活用した展示・貸出	
■3年間の主な実績 ①②新宿区ゆかりの文豪関連作品や地域資料マンガを収集しました。（令和6年3月31日時点） 夏目漱石関連図書890冊、地域資料マンガ133冊、手塚治虫関連図書934冊所蔵 ③地域資料を活用した図書展示や朗読会を行いました。 (ア)「夏目漱石コレクション特別展示」 1階カウンター前のガラスケース内で、貸出禁止の地域資料の展示を年3回実施。 (イ)1階展示コーナーでの資料展示（一部は2階展示コーナー併用） 令和3年度図書展示「新宿ゆかりの人物～あの人もこの人も！～」 「新宿区政七十五周年～新宿百面相～」 令和4年度図書展示「新宿区立中央図書館、半世紀の道のり」「本の中で描かれた新宿」 令和5年度図書展示「新宿ゆかりの人物～あの人もこの人も！～」 「新宿の名店・名建築」 (ウ)常設展示コーナー「新宿区ゆかりの人物」を2階書架内に設置しました。（令和5年2月） (エ)朗読会の開催 令和3年度は図書館ホームページで録音を公開しました。令和4年からは会場実演を録音し、後日ホームページで公開しています。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
関連図書受入れ冊数※	22	38	79	40	198%	A
朗読会参加者数	—	21	22	30	73%	C
朗読会アクセス数	671	604	523	700	75%	C
展示回数（1階展示コーナー）	2	2	2	3	67%	C
展示図書総貸出冊数	331	284	366	350	105%	A

※関連図書受入れ冊数…夏目漱石関連図書、地域資料マンガ、手塚治虫関連図書の合計

課題	今後の取組み
新宿区ゆかりの作家の作品やマンガ、地域資料を積極的に収集しました。収集した資料を広く利用者に活用していただくために、様々なテーマによる資料展示を行いました。展示回数の増加が課題です。また令和5年度は、林芙美子「生誕120年記念」の年であり、新宿歴史博物館館長の講演と朗読を併せて実施しましたが、朗読会参加者数及びアクセス数は目標値に達していなかったため、新たな利用者層にアピールする広報活動の検討が必要です。	サービス計画（令和6年度～9年度）では、全館共通取組事業の1つとして「新宿区ゆかりの作家関連事業」に取り組んでおり、令和6年度も新宿ゆかりの関連講座として朗読会を実施します。また、新宿区ゆかりの作家コーナー（常設）の充実や地域に関するテーマ展示を積極的に行うほか、引き続き新宿区ゆかりの作家の作品やマンガ、地域資料を積極的に収集します。併せて利用者に地域の情報や文化を広める機会を増やしていきます。これらの事業を周知するために、図書館HPだけでなく、XなどのSNSを活用し新たな利用者獲得を目指します。 令和7年3月から、電子化した地域資料を「しんじゅく電子図書館」で貸出手続きなしでどなたでもご覧いただけます。

■R3～5 総合評価 関連図書受入れ冊数の目標を大幅に達成し、展示図書総貸出冊数等、各種事業の達成率も比較的高かったものの、朗読会参加者数、朗読会アクセス数、展示回数など目標に達していない指標が半数以上を占めたため、総合評価は「2」としました。	2
--	---

重点事業報告（中央・こども図書館 2）

重点事業名	9区内で活動する様々な人々・団体・企業等の活動支援	15区民との協働
■事業目的 旧校庭を「そらとだいちの図書館」として「みんなの居場所をみんなでつくる」をモットーに図書館のにぎわい創出や地域のゆるやかなつながりづくりをボランティアと進めます。		
■事業内容 ①そらとだいちの図書館運営ボランティア要綱等の整理 ②ボランティアによる自主活動 ③図書館による活動支援		
■3年間の主な実績 ①そらとだいちの図書館運営ボランティアの立ち上げ及び要綱等の整理 令和3年3月の活動開始から3年目を迎えるにあたり、要綱の整備や登録者の整理を実施。 令和6年3月 要綱改正の説明会及び登録更新案内、ボランティア活動説明会を開催 出席者18名 ボランティア登録更新完了者 32名 ②ボランティアによる自主活動 (ア)菜園運営 令和5年度は図書館外壁工事のため、例年の半分の規模で菜園を運営。 (イ)広場開放 原則月2回 日曜日に開催。 (ウ)広報・企画運営、他団体とのコラボイベント 月1回の定例会を実施。ホームページ運営のほか、インスタグラムなどSNSを活用し情報発信を継続。 令和5年度のイベントは外壁工事期間（8月～2月）外に実施。 コラボ団体：博物倶楽部、エコギャラリー新宿、インセクトキャリア研究会 等 ③図書館による活動支援 (ア)予算確保（内訳は菜園運営関連のみ） (イ)ボランティア申込受付、登録後の案内、定例会や打合せ場所の提供及び参加等を含む連絡調整。		

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
ボランティア登録者数（人）	42	57	32	68	47%	D
広場開放実施回数（回）	21	23	18	26	69%	C
広場開放参加者数（人）	453	849	778	930	84%	B
コラボイベント実施回数（回）	—	8	8	10	80%	B
コラボイベント参加者数（人）	—	173	275	210	131%	A
決算額（円）	54,000	359,560	359,560	359,560	100%	A

課題	今後の取組み
ボランティア登録者数は、令和6年2月時点で81名（119%）でしたが、3月に実働人数を把握するための登録更新を行ったことから32人（47%）に減少しました。 コラボイベントの実施回数や参加者数を指標にしていますが、本来の目的は「居場所づくり・つながりづくり」です。今後は目的に沿った環境整備などを行うことが課題です。	登録更新により実働人数に近いボランティア登録者数となったため、今後は運営に無理のない活動計画を立てていきます。来館者への周知やボランティア同士の交流のため、図書館入口に掲示板を設置し、ボランティア活動への興味関心を喚起します。 夏季の広場開放については、熱中症の危険があるため開催を中止し、屋内・屋外を併用するコラボイベントなどを中心に開催します。また、広場内に日陰を確保できるよう日よけ棚の設置を検討します。

■R3～5 総合評価 「ゆるやかなつながりづくり」の目的達成については、これまで関連のなかった多様な団体とのコラボイベントを開催できたことが成果と考えます。また、コラボイベントの実施回数は前年と同数ですが、その参加者数は前年度173人から275人と100人以上も増えたことから、総合評価は「3」としました。定期的な活動は定着してきたため、今後は経常事業として運営し、ボランティアや利用者の要望を踏まえて支援します。	3
---	---

重点事業報告（中央・こども図書館 3）

重点事業名	17 読書環境の充実 19 区立図書館の利用推進
■事業目的 妊娠期にあるご家庭の方に対し、絵本の意義や読み聞かせについて扱う講座を開催します。 中高生に対し、図書館への関心や利用意欲を高める展示・イベント等を開催します。	
■事業内容 ①プレママ・プレパパへの読み聞かせ啓発講座 ②中高生の図書館利用促進	
■3年間の主な実績 ①プレママ・プレパパへの読み聞かせ啓発講座 令和3年度「絵本がつなぐ親と赤ちゃん 赤ちゃんは絵本が大好き～おすすめの絵本の紹介・選び方・読み方・楽しみ方」（講師：代田知子氏） 令和4年度「子育てに絵本を！～絵本は子育ての強い味方です。絵本の楽しさや、わらべ歌との共通点など、絵本を紹介しながらお話しします」（講師：児玉ひろ美氏） 令和5年度「プレママ・プレパパ保護者への読み聞かせ講座赤ちゃんの心を育てる絵本／わらべうた」（講師：神保和子氏） ②中高生の図書館利用促進 (ア)中高生による資料展示 令和3年度は海城中学・高等学校と保善高校合同で展示を行いました。 展示51冊、貸出74冊 令和4年度以降は新宿西戸山中学校、海城中学・高等学校、保善高等学校それぞれで展示を行いました。 新宿西戸山中学校 令和4年度：展示資料41冊、貸出68冊 令和5年度：展示資料58冊、貸出88冊 海城中学・高等学校 令和4年度：展示資料64冊、貸出85冊 令和5年度：展示資料84冊、貸出100冊 保善高等学校 令和4年度：展示資料49冊、貸出32冊 令和5年度：展示資料123冊、貸出86冊 (イ)中高生向けイベント ワークショップ「情報ツール『LibraryNAVI』で自己紹介ナビを作ろう」（講師：図書館職員）	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
読み聞かせ啓発講座参加者数	14	17	10	30	33%	D
中高生展示の連携学校数	2	3	3	3	100%	A
中高生展示の資料数	51	154	265	170	156%	A
中高生展示資料の貸出数	74	185	274	190	144%	A
中高生向けイベント実施回数	—	—	1	1	100%	A

課題	今後の取組み
プレママ・プレパパへの読み聞かせ啓発講座については、参加者数がいずれの年度も目標値に達しなかったことから、今後参加者数を増やしていくことが課題です。 中高生向けイベントは、コロナ禍のため令和3年度・4年度は実施できませんでしたが、令和5年度に再開することができました。今後は実施回数や参加者数を増やしていくことが課題です。	プレママ・プレパパへの読み聞かせ啓発講座の参加者数を増加させるために、今後はXなどのSNSを更に活用して周知していきます。 中高生展示に関しては、中高生向けの資料を積極的に購入し、より関心を高めていきます。 中高生向けイベントの実施を年2回に増加し、参加者数の増を図ります。

■R3～5 総合評価 プレママ・プレパパへの読み聞かせ啓発事業の参加者数は、コロナ禍もあり、目標を達成することが出来ませんが、その他の指標は、目標値を上回ったことから総合評価は「3」としました。	3
---	---

重点事業報告（四谷図書館 1）

重点事業名	12 魅力あるイベントの実施
■事業目的 内藤新宿をはじめとする新宿や四谷の歴史や文化を区民に伝えます。	
■事業内容 ①内藤新宿ゆかりの食材であるとうがらしを使用した調理ワークショップ ②とうがらしを使った料理本の充実	
■3年間の主な実績 内藤町ゆかりの食材である内藤とうがらしの栽培を四谷区民センター8Fで実施、かつて新宿で栽培されていた内藤とうがらしの中南米から日本への伝来などの歴史を四谷地域に広く周知しました。	
①調理ワークショップ 各年度1回ずつ、栽培したとうがらしを地域センター調理工作室で調理するワークショップを開催しました。料理は講師が調理し、参加者に提供して味わってもらうことで、地域の方々に内藤とうがらしの食文化や育て方を知っていただき、内藤とうがらしの普及に努めました。	
②とうがらし料理の資料展示 令和5年度からとうがらし関連の資料展示を実施しました。展示数が少なかったため貸出し数の統計は令和5年度しか取っていませんが、利用者に大変好評でした。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
参加者数	10	9	7	15	47%	D
開催数	1	1	1	2	50%	C
関連資料展示数	—	—	10	20	50%	C
貸出数	—	—	15	30	50%	C

課題	今後の取組み
とうがらし料理を講師が作り、参加者に食べていただく形式は毎年好評ですが、参加者数を伸ばすことはできませんでした。今後はワークショップの形式を再検討し、参加者数を伸ばすとともに、地域文化への利用者の興味を喚起することが課題です。 展示及び貸出数については、現時点ではとうがらし関連で資料展示できる冊数が少ないため、どちらも目標値まで伸ばすことができませんでした。資料の収集は継続しながら、展示内容について工夫することが課題です。	ワークショップについては、より多くの方に興味を持ってもらうため、今後は利用者に実際に調理に参加していただき、とうがらし料理を作る面白さを体感していただくことを検討しています。内容の充実や開催数の増などもあわせて検討します。 内藤新宿ゆかりの食材であるとうがらしと地域の食文化を中心に、関連する資料を充実させて、図書館の利用者増と関連資料の貸出の促進に結びつけていきます。今後はとうがらし料理だけでなく、新宿及び四谷地域の食文化を中心に、料理だけでなく積極的に関連する資料の収集・展示に努めていきます。 地域文化への興味喚起の新しい取組みとして、「新宿エコ・カル2024in新宿御苑」イベントへの参加も決定しており、「とうがらしの絵本の読み聞かせ」を行う予定です。

■R3～5 総合評価

事業については今後も継続し、地域の食文化である内藤とうがらしを中心に講座を開催します。ワークショップについては内容の他、開催方法や回数などを検討する必要があります。また、参加人数は目標値に達していませんが、利用者から好評をいただいていることから、総合評価は「2」としました。

2

重点事業報告（四谷図書館 2）

重点事業名	8 外国人に対する支援 17 読書環境の充実
■事業目的 国内や海外の雑誌や外国語の図書の収集に力を入れます。	
■事業内容 ①外国語の図書に親しんでもらうための多読イベント開催 ②外国語資料（洋書）の収集 ③海外の雑誌の提供	
■3年間の主な実績 ①「やさしい絵本からやさしい英会話へ！暗記も辞書もいらない楽しい英語多読」講座の開催 （カッコ内は参加者数） (ア)初心者向け講演会＆ワークショップ 令和3年度 2回開催（19名） 令和4年度 3回開催（38名） 令和5年度 4回開催（70名） (イ)経験者向け講演会＆ワークショップ（応用編） 令和3年度 2回開催（15名） 令和4年度 1回開催（1名） 令和5年度 (ウ)に変更 (ウ)やさしい絵本から始める「親子で英語多読」講演会＆ワークショップ（令和5年度～）1回開催（16名） ②外国語資料（洋書）の収集 令和5年度実績内訳 購入 267冊 寄贈 35冊 ③外国語雑誌の提供 6か国、6言語（イギリス、アメリカ、ドイツ、スペイン、イタリア、中国）を提供	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
参加者	34	39	86	40	215%	A
開催数	4	4	5	4	125%	A
洋書資料数	240	289	302	340	89%	B
洋書雑誌数	27	27	25	29	86%	B

課題	今後の取組み
英語多読講座については、令和5年度に初心者向けの開催数を増やしました。 現時点では、東日本の公立図書館において、当館がもっとも多くの英語多読用資料を所蔵していますが、利用者自身で自分の多読レベルにあった資料を見つけにくいことが課題です。 なお、洋書雑誌数の指標設定が誤っていたため、所蔵総数からタイトル数に変更しています。	上段①(イ)経験者向け講演会＆ワークショップ（応用編）から①(ウ)「親子で英語多読」に内容を変更し、参加者が増えたことを踏まえ、小学生に加えて中学生と保護者が対象の多読講座を開催します。 開催数や参加者の増を受け、フォローする講師と職員の手が足りない状況も見込まれるため、ボランティアなどの協力を依頼し、より満足度の高い講座となるよう努めます。 英語多読の資料が豊富であることから、その資料を目的とした来館にもつながりました。洋書については、英語多読の関連本を中心に資料をより充実させるとともに、多読のレベルがひと目でわかるような分類についても検討します。 洋書雑誌については、円安による価格上昇など予算の制約はありますが、今後もできるだけ現在のタイトル数を維持していきます。

■R3～5 総合評価

多読のイベント内容はアンケートを参考にして変更しており、ニーズに沿ったものを開催した結果、開催数、参加者数とも増やすことができ、指標の評価は「A」で高評価でしたが、洋書資料数と洋書雑誌数については指標の評価が「B」であるため、数値は現状を維持しつつ、英語多読資料についてはより充実を図っていきます。以上のことから、総合評価は「3」としました。

3

重点事業報告（四谷図書館 3）

重点事業名	17 読書環境の充実
■事業目的 テーマ特設展示や棚展示など、工夫を凝らした資料展示を行います。	
■事業内容 ①平和図書展示 ②一般展示（図書、視聴覚資料等） ③夏目漱石関連展示	
■3年間の主な実績 ①平和図書展示（平和啓発事業） 毎年7～8月に開催 令和3年度 「戦争と平和に関するパネル展示『戦争と芸術文化』」 令和4年度 「太平洋戦争開戦～その時、国民はどう受け止めたのか～」 令和5年度 「戦禍を駆け抜けた乗り物たち」 ②一般展示（図書、視聴覚資料等） 令和3年度 15回実施 令和4年度 22回実施 令和5年度 56回実施 ③夏目漱石関連展示 令和3年度 「知っているようで知らない漱石」「夏目漱石の生涯」 令和4年度 「漱石、アレ？これ！」 令和5年度 「作家の猫、漱石の猫」	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
展示資料貸出冊数	3,998	3,041	13,702	4,500	304%	A
展示回数	18	24	58	36	161%	A

課題	今後の取組み
一般展示は展示回数、貸出冊数ともに目標値を大きく上回り、利用者と資料を結びつけることができました。今後は、展示内容の質の向上が課題です。具体的には、職員個人が展示内容を考えていた部分を改善する必要があります。	一般展示については、さらに質を上げていきたいと考えています。お互いの知識を深め、展示内容を充実させるために、複数の職員による展示の企画を検討します。複数の視点から資料を集めることで、多様な資料を提供します。
夏目漱石関連展示については、全館取組み事業である「新宿学講座」を充実させ、資料に目を向けてもらえる機会をつくるのが課題です。	夏目漱石関連展示は、今後も貴重な資料を収集及び展示します。また、地域ゆかりの有識者を招いて「新宿学講座」を開催します。新宿ゆかりの人物を軸に、新宿の建物や地域についても触れながら、さまざまな角度から見る機会を設けます。講座を開催することで、利用者に資料展示だけでは得られない、知識をよりいっそう深める機会を提供します。

■R3～5 総合評価 一般展示は職員全員で実施しているため、令和5年度は年間58回の様々な展示が行え、展示回数の伸び以上に貸出冊数も増えました。指標はどちらも目標値を大きく超えたため、総合評価を「4」としました。	4
--	---

重点事業報告（鶴巻図書館 1）

重点事業名	2 地域資料の充実
■事業目的 夏目漱石ら早稲田・鶴巻地域ゆかりの人物や歴史、地場産業である印刷・製本関連産業についての資料収集や展示の充実を図ります。	
■事業内容 ①平和事業の中で早稲田由来の人物に焦点を当てる ②早稲田・鶴巻地域の歴史を学ぶ学習機会の創出 ③郷土資料と地場産業の印刷・製本関係資料の収集	
■3年間の主な実績 ①平和啓発事業で、早稲田由来の人物を中心に資料展示、パネル展示等を実施。 ②早稲田・鶴巻地域の歴史を学ぶ学習機会の創出 令和3年度「早稲田界隈の今昔」講師：羽原清雅氏 令和4年度「早稲田鶴巻地域歴史×平和講座」（平和啓発事業とリンク） 令和5年度「日本に警鐘を鳴らした平和の提唱者 朝河貢一」（平和啓発事業とリンク） ③郷土資料と地場産業の印刷・製本関係資料の収集 (ア)郷土資料の収集 新刊以外にも早稲田古書店街から購入するなど、多角的視点で収集。 また、早稲田鶴巻地域について書かれている資料の調査を図書館サポーターの方に依頼。 (イ)地域資料コーナーに「新宿区ゆかりの人物」を設置 (ウ)資料の電子化 令和3年度に「大鶴巻町」を電子化。 (エ)新宿区の地場産業「印刷・製本」の常設展示 (オ)製本ワークショップの開催（毎年） 関連図書展示と図書目録、パスファインダーの配布。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
平和展示の資料数	102	89	99	110	90%	B
平和イベント参加者数	—	13	23	20	115%	A
歴史講座参加者数	68	35	23	40	58%	C
地域資料受入数	152	231	222	300	74%	C
印刷・製本資料受入数	45	38	32	50	64%	C

課題	今後の取組み
平和啓発事業については、利用者の関心を高められるような資料を展示できるかが課題です。 地域資料の受入数は出版状況に左右されるため、指標の見直しが必要です。また、地域資料の活用を目的とした企画が少ないことが課題と考えます。	平和啓発事業は、令和4年度からは歴史講座と連携させることで、展示した資料が利用者の注目を集める機会を作ることができました。今後も身近に平和を考えてもらうことを目的として、地域ゆかりの人物・事柄などをテーマにしていきます。また、歴史講座のアンケートでは「地域の歴史的な場所を巡るツアー」を望まれる声があるので、座学だけでなく地域の歴史を学ぶ街歩きを企画します。 地域資料の収集については、職員全員を対象に地域の歴史についての研修を行い、知識を深める機会を作ります。また、インターネットなどの情報を日々確認し、未所蔵の資料の発掘や収集、電子化に向けて取り組んでいきます。

■R3～5 総合評価 「大鶴巻町」電子化にあたっては、指定管理会社のノウハウを十分活用できました。 歴史講座については、開催数や街歩きなどの企画を検討していくなど、改善する余地があると考えます。 地域資料の収集は、地域図書館にとって最重要業務との認識で注力してきましたが、今後は指標の設定を見直す必要があるため、総合評価は「2」としました。	2
--	---

重点事業報告（鶴巻図書館 2）

重点事業名	14 情報の生産・発信・交流の支援
■事業目的 町会や商店会などと協働して、子どもから高齢者までの各世代のニーズに応じた講座・サービスなどを企画・提供し、積極的に情報発信します。	
■事業内容 ①地元早稲田グランド商店会主催の「早稲田かつおフェスタ」の盛り上げに協力します。 ②鶴巻図書館報「つるさんのおたより」に、たくさんの地域情報を盛り込み、関心を持ってもらいます。 ③その館報を町会の回覧板にはさみ、多くの地元の方に読んでいただき図書館に親しみを覚えてもらいます。	
■3年間の主な実績 ①早稲田かつおフェスタ 早稲田グランド商店会の「早稲田かつおフェスタ」に地域の図書館として連携し、チラシを図書館内に置き、関連本の展示を行うことで利用者にイベントを周知しました。 令和3年度「健康に欠かせない青魚のヒミツ～秘められたパワーとは～」 令和4年度「未来を開く商店会 地域の活性化をめざし」 令和5年度「海が生む健康長寿パワー～メカブ・ファースト先生語る」 ②鶴巻図書館報「つるさんのおたより」 「わせた店描」と題して、地域の特色あるお店の紹介や地域にある名建築物を訪ね歩く企画を掲載。染色や印刷など地場産業に関わる職人へのインタビュー記事を不定期に掲載しています。こちらは年度ごとにまとめ、地域資料として受け入れしています。 ③館報の町会回覧板での周知 図書館周辺4町会の協力を得て、回覧板に「つるさんのおたより」をはさみこみ、地域の来館されない方にも読んでいただいています。配布部数は4町会合わせて1発行につき120部(年4回)。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
フェスタチラシ配布	100	100	100	100	100%	A
関連講座参加者数	8	13	15	20	75%	C
「かつお」展示資料数	87	81	144	100	144%	A
館報発行部数	2,820	2,120	1,670	2,000	84%	B
館報回覧板用配布数	480	480	480	480	100%	A

課題	今後の取組み
早稲田グランド商店会の活動支援として「早稲田かつおフェスタ」を継続して行っていますが、当館での展示をみて、初めてフェスタを知る利用者也一定数おり、効果を感じていますが、早稲田・鶴巻地域には他にも商店会があるので、それぞれの商店会に対してどのような支援を広げていけるかが課題です。	鶴巻図書館報「つるさんのおたより」は、図書館での活動以外に地域の店舗や建築物、地場産業などの情報収集を図書館員が行って掲載していることから、利用者アンケートでも好評の声を頂戴しています。当館の情報発信の中心として今後も発行していきます。 町会や商店会との連携は、地域図書館の大きな役割と考えています。商店会との連携を強化していくための方法を検討していきます。

■R3～5 総合評価 関連講座参加数と館報発行部数が目標値に届きませんでしたが、鶴巻図書館報「つるさんのおたより」は、早稲田・鶴巻地域の情報（商店会、建築物、地場産業など）も加えた内容で、鶴巻図書館ならではの情報紙となっており、窓口や利用者アンケートでも楽しみにされているお声をいただいていることから、総合評価は「3」としました。	3
---	---

重点事業報告（鶴巻図書館 3）

重点事業名	20 学校等との連携
■事業目的 学校との連携を進め、YA本の帯デザイン賞などを通じ、青少年の魅力ある読書活動の機会を一層後押しします。	
■事業内容 ①本の帯デザイン賞を知ってもらうための学校への周知・広報活動 ②適切な審査の実施 ③応募者の励みになるよう優秀作品を展示することで、来館者へも本の素晴らしさを伝える	
■3年間の主な実績 ①学校への周知・広報等 新宿区内の公立を中心とする中学校と応募が期待できそうな高校計約15校にポスターやチラシを送付し、校内での周知を依頼しました。より事業への積極的な参加を求めるため、担当から直接、校長あてに電話で事業について説明を行いました。その結果、以下の学校が作品提出を課題として位置づけてくれたことで、多くの作品応募につながることができました。 令和3年度 学習院女子中等科、令和4年度 区立牛込第一中学校、令和5年度 目白研心中学校・高等学校 ②適切な審査 最終審査は地域の関係者へ依頼しました。 令和3年度：藤原良雄氏(藤原書店社長)、山浦真一氏（あすなろ書房社長）、飯島悟氏(三幸書房店主) 令和4年度、令和5年度：山浦真一氏（あすなろ書房社長）、向井透史氏（古書現世店主） ③作品の展示及び来館者への周知 最優秀作3点、入選10点、最終審査に残った約30作品を鶴巻図書館内に展示し、応募者の励みとするとともに、来館者に対しても作品を通して各図書館の魅力を伝えました。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
周知対象学校数	15	15	15	20	75%	C
作品応募数	271	97	169	200	85%	B
展示日数	24	23	29	24	121%	A
ちらし配布数	80	80	80	100	80%	B

課題	今後の取組み
学校へ積極的に働きかけた時期は応募数が増えましたが、当時のつながりが薄まると、応募数に減少が見られました。今後も働きかけは継続しますが、特に区内在住の中高生からの応募を伸ばすことが課題です。 周知方法についても、学校にポスターやチラシを配付するだけでよいのか、検討する必要があります。	周知方法については、ポスターやチラシの配付の依頼とともに、職員が学校へ訪問し、直接的な働きかけを継続します。また、潜在的に応募してくれる可能性のある中高生世代に向けて、中高生の集まる掲示板やSNSに投稿するなど、一歩踏み込んだ周知方法を検討します。 読書活動が少なくなる世代に向けて、読書の楽しさを忘れずにいてもらいたいとの思いから始めた企画のため、区内在住の中高生の参加を増やしたいと考えています。現在アプローチしている学校だけでなく、今後は範囲を広げることを検討したいと考えています。

■R3～5 総合評価 令和3年度と4年度の応募数に差が生じたのは、多くの募集があった1校で授業内容の変更があったためです。5年度は参加校が増え応募数が戻ってきました。応募者も作品の展示を見るため当館に足を運んでくれました。利用者アンケートでは一般の利用者より「とてもよい」との評価をいただきましたが、周知方法や応募数に改善の余地があるため、総合評価は「2」としました。	2
--	---

重点事業報告（西落合図書館 1）

重点事業名	12 魅力あるイベントの実施
■事業目的 ミステリークエスト～夏目漱石からの挑戦状～は、対象をすべての利用者に拡大します。	
■事業内容 夏目漱石のことを知ってもらい、その作品に触れるきっかけを作ることを目的として、漱石山房記念館と連携して謎解きイベントを実施する。	
■3年間の主な実績 謎解きイベント「ミステリークエスト～夏目漱石からの挑戦状～」を開催しました。 両館を訪れることによって解ける問題を作成配布し、夏目漱石についての資料に触れてもらうとともに来館者数増加を図りました。 (ア) 令和3年度「ミステリークエスト～夏目漱石からの挑戦状～Ⅲ」 問題の種類：上級、中級、初級（初級・中級が小学生向け、上級が中学生以上一般向けの3種類） 配布数：上級79冊、中級35冊、初級64冊 広報：図書館ホームページ、「Oh!レガス12月5日号」、読売新聞掲載 (イ) 令和4年度「ミステリークエスト～夏目漱石からの挑戦状～Ⅳ」 問題の種類：小学生向け、中学生以上一般向け（2種類） 配布数：小学生向け142冊、中学生以上一般向け214冊 広報：図書館ホームページ、「広報新宿7月15日号」「Oh!レガス7月5日号」掲載 (ウ) 令和5年度「ミステリークエスト～夏目漱石からの挑戦状～Ⅴ」 問題の種類：小学生向け、中学生以上一般向け（2種類） 配布数：小学生向け106冊、中学生以上一般向け269冊 広報：図書館ホームページ、「広報新宿7月5日号」「Oh!レガス7月5日号」掲載	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
参加者数（子ども）	99	142	106	160	66%	C
参加者数（大人）	79	214	269	230	117%	A

課題	今後の取組み
令和5年度に実施した際に、参加者から「夏目漱石と縁のない西落合図書館に行くメリットがない」とのご意見をいただきました。そのため、イベント期間にあわせて西落合図書館でも夏目漱石の関連行事を行うことを検討する必要があります。	ミステリークエストは、謎解きイベントとして今後も継続して行う予定です。また、イベント期間にあわせて、特別展示・朗読会などを実施して、夏目漱石の魅力を発信し、幅広い世代が夏目漱石に親しむ機会を提供していきます。

■R3～5 総合評価 ミステリークエストは、毎年恒例の謎解きイベントとして実施したことにより定着させることができました。当初は子ども向けイベントとして学校の長期休暇中に漱石山房記念館を訪れていただくことを目的にしていたことが、対象を拡大したことにより大人の参加者が多くなりました。反面、子どもの参加者が伸びなかったことから総合評価を「2」としました。	2
---	---

重点事業報告（西落合図書館 2）

重点事業名	16 新宿区子ども読書活動推進計画
■事業目的 子育て支援事業を核にして教育機関と連携しながら図書館利用をPRしていきます。	
■事業内容 ①子育て講座の開催 ②出張おはなし会の開催 ③図書館情報発信	
■3年間の主な実績 ①子育て講座の開催 対象は未就学児を持つ保護者向けのため、子ども連れも可とし、乳幼児の託児も設置しました。 令和3年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 令和4年度：「わたしにもできる”おうち性教育”」 令和5年度：「ハグで育む～絵本ヨガ～」 ②出張おはなし会の開催 近隣の幼稚園・保育園・小学校に図書館職員が出張し、読み聞かせを行いました。 ③図書館情報発信 情報誌「このほん読んで」を発行（季刊で40部発行）。絵本の紹介などを掲載しており、絵本選びの参考になっています。 前月におはなし会で読んだ絵本を紹介する「おはなし会で読んだ絵本」を毎月発行し、西落合図書館の児童コーナーで配布しました。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
子育て講座参加者数	—	8	15	15	100%	A
上記託児実績数	—	6	—	10	—	—
出張おはなし会開催数	3	15	6	20	30%	D

課題	今後の取組み
令和5年度子育て講座は、保護者と子どもが一緒に行うイベントだったため、参加者数が増えています。託児は行いませんでした。 出張おはなし会については、基本的に先方より依頼があった場合に、開催することが多かったのですが、開催数が伸び悩んでいます。今後は図書館から積極的に出張おはなし会を打診していく必要があります。	出張おはなし会について、近隣の幼稚園、保育園、小学校に出張おはなし会を行うことができることをPRし、定期的におはなし会を開催できるよう働きかけを行い、開催数の増につなげていきます。 また、子育て講座、情報発信についても継続して取り組んでいきます。

■R3～5 総合評価 子育て講座は、託児を設け、子連れでもイベントに参加しやすい工夫をしました。出張おはなし会については、各施設への働きかけが不十分だったため、目標値に達しませんでした。しかし、子育て講座の参加者数が伸びたことや、図書館から絵本の紹介をする「このほん読んで」を発行することにより、図書館から子育て世代へ情報発信することができたことから、総合評価を「2」としました。	2
--	---

重点事業報告（西落合図書館 3）

重点事業名	6 区民の課題解決支援 10 博物館・大学等の連携
■事業目的 区内各部署やまちと連携しながら地域ニーズに応じたサービスを展開します。	
■事業内容 ①自殺対策強化月間における連携展示 ②女性の健康についての連携展示 ③落合三世代交流サロンとの連携 ④親子講座（目白大学との連携）	
■3年間の主な実績 ①自殺対策強化月間展示（健康部との連携） 令和3年度 「たった一人のあなたへ」 令和4年度 「大切なあなたへ」 令和5年度 未実施（健康部の要請により「フレイル予防」をテーマとした展示に変更） ②女性の健康（四谷保健センターとの連携） 令和3年度 「乳がん啓発月間関連展示～自分の心と身体を応援しよう」 「健康づくり明るい毎日 ～女性の健康～」 令和4年度 「女性の健康・がんについて学ぶ」 「おうちでできる健康生活 ～女性の健康～」 令和5年度 「ピンクリボン月間～乳がん・子宮がんについて知ろう～」 「女性の健康づくり」 ③落合三世代交流サロンとの連携 おちあいFMにおいて図書館情報発信を放送（コロナ以降中止） 図書館報「にしおち図書館だより」の配布（年間を通して配布） ④親子講座（目白大学との連携） 令和3年度は中止。 令和4年度 「あめのおともだち～工作と手遊び～」 令和4年6月25日（土） 「つくっておどって！おにとおともだち！！Let'sオニオニ～」 令和5年1月14日（土） 令和5年度 「ふしぎなによろによろぼうであそぼう」 令和5年6月24日（土） 「色紙で恵方巻を作ろう！～レッツ！まきまき～」 令和6年1月27日（土）	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
①貸出点数	40	38	—	50	—	—
①展示点数	28	37	—	40	—	—
②貸出点数	204	161	93	200	47%	D
②展示点数	113	118	99	110	90%	B
③おちあいFM放送回数	—	1	—	—	—	—
③図書館報配布数	40	40	40	40	100%	A
④参加者数	—	44	54	50	108%	A
④開催回数	—	2	2	2	100%	A

課題	今後の取組み
各部署からの連携展示は、貸出点数が伸び悩みました。親子講座は、集客に苦労したため、集客数を増やすことが課題です。	連携展示は、手に取りやすいようにわかりやすい本を選書したり、面出しをしたりするなどの工夫が必要です。 親子講座の集客のためには、イベントの内容をわかりやすく提示するなどの工夫が必要です。またSNSも活用して周知していきます。

■R3～5 総合評価 連携展示に関しては、部署により、連携できた展示とできなかった展示とに分かれました。親子講座の参加者数は目標値を上回りましたが、落合三世代交流サロンとの連携はコロナ以降図書館だよりの配布のみとなったことから、総合評価を「2」としました。	2
--	---

重点事業報告（戸山図書館 1）

重点事業名	8 障害者に対する支援
■事業目的 障害者等サービス拠点館として、誰にでも豊かな読書を支援する図書館を目指します。	
■事業内容 ①障害者サービスに関連した資料の収集・常設展示の設置 ②障害者の方への資料貸出 ③音訳資料の製作 ④障害者が活躍する姿の紹介 ⑤障害者サービスの周知・障害者理解に繋がる事業の実施 ⑥区内の高校生・企業財団と協力したデージー図書の製作	
■3年間の主な実績 ①障害者理解につながる資料の収集・展示 障害に関する内容の資料を積極的に購入し、一般書架・児童室共にコーナー化しました。 ②障害者の方への資料貸出等の直接サービス デージー図書を郵送貸出によりサービス提供しました。 ③音訳資料の製作 音訳ボランティアグループと共同で録音図書製作を行い、製作データを国立国会図書館へ提供しました。 ④障害者が活躍する姿の紹介 視覚障害者が中心のグループによる朗読会を年3回実施し、朗読動画をYouTubeで配信しました。 ⑤障害者サービスの周知・障害者理解につながる事業の実施 (ア)館内でのサービス紹介パネル掲示、マルチメディアデージー体験コーナーを設置しました。 (イ)戸山図書館だよりに読書補助機器や声の図書館研究会の紹介などを掲載しました。 (ウ)マルチメディアデージーを使ったおはなし会・読書補助用具の工作会を実施しました。 (エ)障害者支援に関わる方を対象とした研修(知的障害者への読書支援など)を実施しました。 ⑥区内の高校生や財団と協力したデージー図書の製作 戸山高校や新宿高校、伊藤忠記念財団と協力し、マルチメディアデージーを製作しました。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
資料受入冊数	50	78	57	90	63%	C
貸出数（一般書）	1,026	973	854	1,100	78%	C
貸出数（児童書）	336	409	326	450	72%	C
朗読会参加者総数	10	66	94	90	104%	A

課題	今後の取組み
重点的に収集を行っている障害関連資料の貸出数は目標値に達しませんでした。障害に関心を深め、資料を手にとってもらう工夫と広報活動が必要です。また障害者サービスの効果測定としては、指標や目標値を見直す必要があります。	障害者サービスは、直接サービスが基本であることから、録音図書の製作や多様なイベントを継続していきます。一方、インターネットを利用した活動として、誰もが視聴できる朗読動画を配信していきます。また、図書館だよりやイベントを通して、当館の障害者サービスを周知していくとともに、障害者理解の推進を進めていきます。また、朗読動画の配信数などを新しい指標や目標値として検討します。

■R3～5 総合評価 従来の事業に加え、朗読動画製作や福祉作業所の図書館利用、区内高校生とのデージー図書製作など、新たな活動に取り組みました。特に障害者を主対象としたイベントの開催は、令和5年度は2回で約20人の視覚障害者の参加があり、高い評価を頂きましたが、複数の指標で令和5年度の実績が伸びなかったことから、総合評価を「2」としました。	2
--	---

重点事業報告（戸山図書館 2）

重点事業名	8 高齢者に対する支援
■事業目的 区の関連施設と連携し、高齢者の情報活用能力向上を支援するイベントの実施・関連資料の充実を図ります。	
■事業内容 ①アクティブシニア展示及び展示資料の収集 ②高齢者向け事業の実施	
■3年間の主な実績 ①アクティブシニア展示及び展示資料の収集 (ア)65歳以上のシニアを対象とした展示コーナーの設置（令和4年度） 高齢者がより充実した人生を送ることができるようアクティブシニアコーナーを設置しました。 (イ)展示資料の購入 アクティブシニアコーナーは令和4年度に225冊からスタートし、令和5年度は352冊まで増加しました。 ②高齢者向け事業の実施 (ア)高齢者向けスマートフォン講座 自らが必要とする情報を高齢者自身が取得できるようスマートフォン講座を実施しました。 (イ)医療セミナー 国立国際医療研究センターから専門医を招き、高齢者の健康と関係の深いテーマ（「運動と食生活」「認知症」「食べる力」）で講演会を実施しました。 (ウ)くらしの講座 様々な分野の専門家を招き、高齢者に身近な話題をテーマ（「エンディングノート」「消費生活トラブル」「防災知識」）とした講演会を実施しました。 (エ)在宅療養シンポジウムのサテライト会場提供 新宿区福祉部主催によるオンラインシンポジウムの中継会場を提供し、オンライン参加が難しい高齢者へ情報取得機会を提供しました。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
展示貸出数	—	1,575	3,146	1,700	185%	A
スマホ講座参加者数	—	8	14	15	93%	B
医療セミナー参加者数	10	22	16	25	64%	C
くらしの講座参加者数	—	8	14	20	70%	C

課題	今後の取組み
高齢者の日々の生活を充実させる資料の収集やイベントを企画するなど、様々なサービスを提供しましたが、イベントについては、講演テーマによって参加数に大きな差がありました。より多くの方に有効な情報を届けるため、高齢者向けには紙媒体を中心に周知することや、高齢者関連施設への情報提供など広報活動の充実が課題です。	今後は、高齢者がより安心して暮らすことができる街づくりに貢献できるよう多角的な事業を企画し、これまで図書館を利用していない方にも足を運んでもらうことができるよう努めます。 また、高齢者総合相談センターと連携し関連施設へ定期的な情報提供も行うほか、どのような広報活動が展開できるかについても検討を行います。

■R3～5 総合評価 図書館資料貸出・企画事業の両面から、高齢者へ様々な情報を提供しました。講座の参加者数は合計60人を目指していましたが、目標値に達しませんでした。しかし、展示貸出数の多さに加え、在宅医療セミナーやポッチャなど的高齢者を対象とした事業参加者を加算すると81人になることから、総合評価を「3」としました。	3
--	---

重点事業報告（戸山図書館 3）

重点事業名	2 地域資料の充実
■事業目的 地域と連携し、新宿区ゆかりの作家・夏目漱石の人物像と作品に迫ります。	
■事業内容 ①関連資料の収集・常設展示の実施 ②企画展示の実施 ③関連事業の実施	
■3年間の主な実績 ①関連資料の収集・常設展示の実施 関連資料を収集すると共に、一般書架・児童室の2か所で常設展示を実施しました。 一般書架では、漱石作品に触れた事のない利用者に向けて、作品や人物像にまつわるエピソードを取り上げたコラム「今月の漱石」を毎月掲示しました。 児童書架では、児童向けに漱石を紹介したパスファインダーの作成・配布、漱石の生きた時代を取り上げた資料も併せて展示しました。 ②企画展示の実施 下落合・角筈図書館と連携し、各館で独自のテーマを設定した企画展示を実施しました。 各館のパスファインダーを相互に配布したほか、オリジナルしおりを景品としたスタンプラリーを実施しました。 ③関連事業の実施 戸山・角筈・下落合図書館連携企画として、漱石ゆかりの場所を図書館員の解説付でめぐる街歩きイベント「漱石さんぽ」を実施しました。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
常設展示貸出総数	355	277	394	300	131%	A
企画展示貸出数	164	192	276	200	138%	A
漱石さんぽ参加者数	12	15	11	15	73%	C

課題	今後の取組み
資料展示の貸出数は目標値を大きく超え、多くの利用者の興味関心を喚起することができました。街歩きイベント「漱石さんぽ」は毎年テーマやルートを変えて実施していましたが、5年継続実施したこともあり、ここ数年は集客が安定しなかったため、趣向を変えた企画事業を検討する必要があります。	今後は夏目漱石に限定せず、地域資料の充実と情報発信を重点目標として、資料の収集と関連事業を実施します。専門家を招いた郷土史講座のほか、新宿区ゆかりの作家に焦点を当てた資料展示やイベントを実施します。

■R3～5 総合評価 資料展示は貸出数も多く、「漱石さんぽ」の満足度も総じて高い評価があり、新宿区ゆかりの作家である夏目漱石の魅力を多くの利用者に発信することができました。「漱石さんぽ」の参加者数を除き、目標値を達成したため、総合評価を「3」としました。	3
---	---

重点事業報告（北新宿図書館 1）

重点事業名	8 外国人に対する支援
■事業目的 多文化共生地域を意識し、多言語資料の充実や異文化に触れる企画など、様々な人が利用しやすい図書館づくりに努めます。	
■事業内容 ①外国語資料の除籍・更新、利用促進のための別置コーナーの設置 ②民族楽器など多文化を体験できるイベントの実施	
■3年間の主な実績 ①外国語資料の除籍・更新、利用促進のための別置コーナーの設置 (ア)出版年の古いガイドブックやパソコン関連資料について新しい資料への買い替えを積極的に行いました。 (イ)児童絵本コーナーに下記別置コーナーを設置し利用を促しました。 「くらべてみよう！」コーナー 言語を示したポップを付け、英語・韓国語・中国語・日本語の4言語の同じ絵本を常設で展示するコーナーを設置しました。外国語を勉強する一般の方からの利用もあり、貸出利用の拡大につながりました。 「英語で読んでみよう！」コーナー 日本語版でも人気ある作品を中心に選書し、常設で展示するコーナーを設置しました。 令和5年度「ふれる！つながる！世界の言葉と文化」の資料展示を1年を通して行い、様々な国の文化と文学を紹介しました。 ②民族楽器など多文化を体験できるイベントの実施 令和4年度は、桜美林大学との協働で、児童向けに世界の色々な国のコマに実際に触れて、回し方を考える体験型イベント「世界のコマの回し方ワークショップ」を実施しました。 令和5年度は、桜美林大学との2回目となる協働企画「世界のけんだま体験&工作ワークショップ」を実施しました。また「外国人にやさしい図書館づくり」では、近隣日本語学校の留学生をイベント講師に迎え、「外国語のおはなし会」、「ブックコート体験講座」を実施しました。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
洋書購入冊数（一般）	143	129	150	150	100%	A
洋書購入冊数（児童）	78	61	85	85	100%	A
多文化イベント開催数	—	1	4	2	200%	A
イベント参加者数	—	17	38	35	109%	A

課題	今後の取組み
目標値を達成できましたが、外国語資料の書架の整理や更新において課題が残りました。ついでに、書架の更新を行った上で充実した資料による魅力的な展示を行う必要があります。また、外国人にやさしい図書館づくりは、館内の表示などに工夫が必要です。	外国語資料収集を進め、同時に外国語資料の書架の整理をし、資料の更新を図ります。その上で、外国語おはなし会や外国語資料の魅力ある展示やイベントを開催し、多文化理解促進と資料の貸出数の増加を目指します。 外国人にやさしい図書館を目指し、館内の表示の改善を検討します。

■R3～5 総合評価 多文化共生事業については近隣施設との連携が実り目標を達成しましたが、書架の整理や更新において課題が残っていることから、総合評価を「3」としました。	3
--	---

重点事業報告（北新宿図書館 2）

重点事業名	9 区内で活動する様々な人々・団体・企業等の活動支援
■事業目的 区の各部署や近隣地域団体と連携し、図書館が身近な施設であることを感じていただけるような事業を実施します。	
■事業内容 ①女性の健康支援センターとの連携による「女性の健康づくり講座」、関連資料展示の実施 ②文化観光課との連携による「北新宿歴史講座」（講義・街歩き）の関連資料展示の実施 ③新宿歴史博物館ボランティアガイド朗読の会「ふみのしおり」との協働による朗読会の実施	
■3年間の主な実績 ①女性の健康づくり講座・関連展示等 令和4年度講座「女性の健康づくり講座～乳がん・更年期障害・骨粗しょう症について～」 関連資料展示「がんを生きる女性」開催 令和5年度講座「女性の健康づくり講座～いきいきからだのつくり方～」/女性の健康いきいき講座「健康寿命をのばして人生を豊かに」 ②北新宿歴史講座・関連展示等 令和4年度「北新宿歴史講座～歴史さんぽで北新宿をもっと知ろう！～」 関連イベント：「北新宿今昔写真展」 令和5年度「北新宿歴史講座 江戸名所図会と新宿の名所」 ③北新宿朗読会の開催 新宿歴史博物館ボランティアガイド朗読の会「ふみのしおり」と協働で開催。「夏目漱石」をテーマにした朗読会を定期的に開催したほか、「平和を願う朗読会」を親子向け朗読会として実施しました。 令和3年度「北新宿朗読会～初春～夏目漱石特集～」 令和4年度「親子で楽しむ朗読会～平和を願う林芙美子の童話～」 「北新宿朗読会～夢十夜をすべて～」 令和5年度「新見南吉 生誕110年没後80年記念朗読会～童心にかえりませんか～」 「～夢十夜をふたたび」	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
健康講座参加者数	—	7	9	15	60%	C
健康講座展示冊数	31	48	115	50	230%	A
健康講座展示貸出冊数	16	64	80	80	100%	A
歴史講座参加者数	—	12	28	20	140%	A
朗読会参加者数	7	18	35	30	117%	A
朗読会開催数	1	2	2	2	100%	A

課題	今後の取組み
歴史講座や朗読会は年々参加者数が増えましたが、健康講座参加者数は目標値に届きませんでした。ポスターやチラシはもちろん、積極的に声かけをするなど様々な年齢の利用者への広報活動の検討をする必要があります。	引き続き、各部署や近隣地域団体と連携した朗読会、工作会、講演会などのイベントを開催し、図書館が地域に根ざした身近な施設であることを知っていただき、図書館利用者数の増加を目指します。 併せてイベント・講座に関連した資料を展示し、図書館資料の利用の増加を図ります。広報についてもSNS等の活用やイベントに応じた他施設へのチラシ配布等を検討します。

■R3～5 総合評価 健康講座参加者数は目標値に届きませんでした、その他の指標は目標値を上回ったことから、総合評価を「3」としました。	3
---	---

重点事業報告（北新宿図書館 3）

重点事業名	18 読書活動への支援
■事業目的 子どもたちの読書活動を支援し、社会への興味や視野を広げるきっかけとなるような、多様なイベントを実施します。	
■事業内容 ①読書への興味を喚起するための「読書手帳」の配布 ②イベントの実施	
■3年間の主な実績 ①読書への興味を喚起するための「読書手帳」の配布 読書のきっかけづくり・推進のため、75冊読了達成者にオリジナルシール、120冊読了達成者に読書手帳と同じデザインのオリジナルしおりをプレゼントしました。複数冊に到達する児童もいるため2冊目の75冊読了達成者にはオリジナル缶バッジのプレゼントを実施した。親子で取り組む児童もあり、読書活動推進の一助となっています。 ②イベントの実施 さまざまな事柄への興味・関心を広げ、読書への興味につなげるため、読み聞かせだけでなく、映画会や工作会、外部機関への見学会などを実施しました。 (ア)令和3年度 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベントが多数中止となりました。定例のおはなし会、ちいさい子向けおはなし会は11月から再開しました。 (イ)令和4年度 おはなし会、土曜名作おはなし会、ちいさい子向けおはなし会の他、下記児童向けイベントを20回、館内外で実施しました。 (ウ)令和5年度 おはなし会、土曜名作おはなし会、ちいさい子向けおはなし会などの児童向けイベントを実施しました。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
読書手帳の配布部数	210	176	294	190	155%	A
読書手帳達成者数	29	21	32	30	107%	A
おはなし会開催数	16	54	82	60	137%	A
映画・工作会開催数	4	7	14	9	156%	A
外部機関連携回数	3	5	6	5	120%	A

課題	今後の取組み
読書手帳の配布部数、達成者数が令和5年度は大きく伸びました。また、おはなし会、映画会、工作会等の開催数を増やし、読書への関心も高まったことが伺えます。このことから、引き続き、おはなし会や映画会を開催していきますが、1回1回の参加者数をどのように増やしていくか、検討していく必要があります。	今後も読書手帳を作成し、希望するすべての来館者に配布します。イベントについては、おはなし会、外国語のおはなし会、映画会、工作会などを開催し、併せて資料の展示を行うことで、読書への関心を高めてもらえるよう取り組んでいきます。チラシ配布や声かけ、フロアワークなど積極的に行いイベント参加者を募ります。 外部機関と連携して多様なイベントを開催し、子どもたちの社会への関心を高め、また視野を広げる機会とします。 今後も引き続き、子どもたちの読書活動を支援していきます。

■R3～5 総合評価 目標値をいずれも達成し、中には大きく上回った数値もあるため、総合評価を「4」としました。	4
---	---

重点事業報告（中町図書館 1）

重点事業名	2 地域資料の充実
■事業目的 地域資料（特に神楽坂に関する資料など）を幅広く収集・提供します。	
■事業内容 ①地域資料の収集 ②地域資料コーナーの新設（児童コーナー） ③「神楽坂 本のまちマップ」の作成	
■3年間の主な実績 ①地域資料の収集 令和元年度に実施した古地図の展示で、特別区自治情報・交流センターから借用した各年代の牛込地区の古地図の展示が好評だったので、古書店で同じものを探して購入しました。 ②地域資料コーナーの新設 児童コーナーに地域資料コーナーを新設しました。現在所蔵している新宿区関係の資料を中心とし、新たに政府や自治体、各種団体が子ども向けに発行したパンフレット資料を整備し、閲覧できるようにしました。 ③「神楽坂 本のまちマップ」の作成 地域調べの一助となることを目的に「神楽坂 本のまちマップ」を年に1回作成し、地域の様々な特徴を取り上げてテーマを決め、地域情報をまとめた地図を発行しました。裏面には、関連書籍を紹介しました。 令和3年度 「神楽坂 本のまちマップー本にまつわる12のスポットー」 出版社や本屋、ブックカフェなど本に関係する12ヶ所と関連の本の紹介。 令和4年度 「神楽坂 本のまちマップー100年続く老舗とおすすめの本ー」 創業から100年以上の老舗と関連の本を紹介。 令和5年度 「神楽坂 本のまちマップー漱石も通った芸能文化とおすすめの本ー」 伝統芸能や芸術文化に関連した施設や人物、地域情報誌と関連の本を紹介。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
地域資料受入数	79	81	151	80	189%	A
地域資料貸出数	1,791	1,601	1,451	1,500	97%	B

課題	今後の取組み
自治体発行の情報などで、暮らしに役立つ資料を探しやすく、見やすく提供できるように整備することが課題です。 受入数については、スペースの問題もあることから現状維持で目標値を80としています。貸出数については、展示で紹介するなどの工夫が必要です。	チラシ・パンフレット資料や広報紙など暮らしに必要な情報を整備して、利用者の手に届くようにより見やすく配架します。 貸出数については、「神楽坂 本のまちマップ」の発行と関連させた展示を工夫し、貸出冊数を伸ばす工夫をしていきます。見やすく手に取りたくなるような魅力あるコーナー作りに取り組みます。

■R3～5 総合評価 限られたスペースの中で、常に当館に必要な行政資料を選定して、除籍・受入作業を行ったことから達成率が高いことを評価します。「神楽坂 本のまちマップ」の発行に合わせた企画展示やまち歩きなどについては、どうすれば貸出数の増加につながるような魅力的なコーナー作りができるか検討する必要があります。以上のことから総合評価を「3」としました。	3
--	---

重点事業報告（中町図書館 2）

重点事業名	6 区民の課題解決支援
■事業目的 地域の課題解決のために、図書館の利用を促進し、レファレンスの充実と質の向上を図ります。	
■事業内容 ①職員のスキルアップのための研修への参加 ②レファレンスに対応できる蔵書の充実 ③パスファインダーの作成	
■3年間の主な実績 ①職員のスキルアップのための研修への参加 職員に対してレファレンスに関する館内研修を実施したほか、中央図書館の研修などを積極的に受講しました。令和3年度は児童レファレンスの研修を実施しました。このほか、著作権研修、目録研修、フランス文学入門講座などの研修を受講し、職員全員の総合的なスキルアップを図りました。 ②レファレンスに対応できる蔵書の充実 中町図書館収集計画を作成し、各分野でレファレンスに対応できる資料の更新と収集を行いました。 ③パスファインダーの作成 利用者が自分で調べることができるよう、毎年テーマを決め、調べ方をまとめたパスファインダーを作成し、館内で配布しました。 (ア) 一般向け 令和3年度「災害・防災について調べる」 令和4年度「お金について調べるー初めての投資ー」 令和5年度「当たり前のくらしを奪われた人々〜平和と公正をすべての人に〜」 (イ) 児童向け 令和3年度「自然災害から身を守る」 令和4年度「お金ってなんだろう」 令和5年度「故郷から避難している人たち 難民について知る」 「生活になくてはならない水」「みんなのくらしのために使われている税金」	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
レファレンス受付件数	339	381	784	400	196%	A
職員研修受講者数	90	63	25	90	28%	D
パスファインダー発行数	2	2	4	4	100%	A

課題	今後の取組み
毎年年末に全館で実施している満足度調査からも、レファレンス業務について「利用したことがある」と回答した利用者は、20%台で推移しており、今後さらにレファレンスという業務について知っていただくための工夫が必要です。パスファインダーのテーマについては、ニーズと合っているかの検証が必要です。	レファレンス資料の更新は常に取り組んでいきます。職員のスキルアップと資料の充実は今後も継続して実施します。全体のスキルアップによって回答の質の向上を図り、受付件数や満足度の向上につなげていきます。 パスファインダーは、ニーズやトピックをとらえ、利用者の課題解決につながるテーマについて新規に作成します。また、既に発行したパスファインダーについては、随時更新していきます。

■R3～5 総合評価 研修については、外部講師の研修や現場研修に積極的に取り組みました。職員研修の受講者数は令和5年度に減少していますが、毎月の職員全員のミーティングで内部研修として情報共有を行っているため、実際の延べ受講者数は90人前後で大きく変わっていません。レファレンス受付件数も増加するなど研修の成果が表れていることから総合評価を「3」としました。	3
--	---

重点事業報告（中町図書館 3）

重点事業名	18 読書活動への支援 26 身近な場所の読書環境の整備
■事業目的 子どもの成長を支援するため、読書活動と子育ての支援に取り組み、また、地域の大学や施設等とも連携を図って、読書機会の提供と読書支援活動を行います。	
■事業内容 ①読書活動と子育ての支援（おはなし会を含む） ②読書活動を支える読み聞かせサポーターの育成 ③地域連携での支援活動	
■3年間の主な実績 ①読書活動と子育ての支援（おはなし会を含む） 継続事業で、子どもや大人の読書への興味や読書機会を提供する取り組みを実施しました。 (ア) 一般向けイベント 「赤ちゃんタイムDE子育て講座～親子で楽しむ手遊び・わらべ歌講座～」等 (イ) 児童向けイベント 「読書ノートをつくろう!」、「夏休み子ども読書スタンプラリー」等 ②読書活動を支える読み聞かせサポーターの育成 「読み聞かせ講座」（絵本編、紙芝居・手遊び・わらべ歌編、プログラムの作り方）を実施しました。 ③地域連携での支援活動 様々な連携先と読書活動支援と読書機会の提供を図る事業を実施しました。 (ア) 東京日仏学院（旧アンスティチュ・フランセ東京）との連携 「フランス語絵本のおはなし会」、「本のまち散歩～神楽坂の中のフランス～」の実施、「読書のタベ」への参加 (イ) 東京理科大学大学院との連携 「サイエンスおもしろランド」、「算数わくわくランド」の実施 (ウ) 市谷の杜 本と活字館との連携 「本のまち散歩 漱石の文学を味わう」等の実施 (エ) 株式会社偕成社との連携 社会科見学「偕成社へいこう!」の実施 (オ) 出張おはなし会 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しましたが、令和4年度に再開しました。 (カ) リサイクル市の開催 地域の各種イベントに参加し「本のリサイクル市」を開催しました。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
一般向け支援イベント	7	9	17	8	213%	A
子ども向け支援イベント	59	115	157	88	178%	A
連携事業件数	6	30	80	30	267%	A

課題	今後の取り組み
当館はイベント用スペースがないため、近隣施設のスペースを借りることも多く、図書館のアウトリーチ活動との効果的な両立を図る必要があります。	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、出張おはなし会を含む対面イベントが実施できない状態でしたが、連携事業については、重点事業として継続して取り組んできました。令和4年度以降は出張おはなし会の依頼も増えました。今後は、近隣施設との連携を強化することでスペースの課題を解決できるよう取り組んでいきます。

■R3～5 総合評価 新型コロナウイルス感染症拡大中でも対面でなくてもできることを工夫して様々な事業を継続してきました。徐々に日常を取り戻していく中で、読書活動への支援としてすぐに活動できるようサポーター研修や企画など準備して順調に再開してきたので、全体的にイベント実施回数が増加しています。今後は回数を維持しながら、内容や質の向上など総合的に考えて支援活動を実施していくことを期待します。館内スペースで大きなイベントはできませんが、「読書ノートをつくろう!」（読書記録のつけ方講座）のように、シリーズ化することでイベントが定着し、家庭での読書支援に効果が認められるなど、小さい取り組みでも継続してきた成果を評価します。以上のことから総合評価を「4」としました。	4
---	---

重点事業報告（角筈図書館 1）

重点事業名	1 資料の充実
■事業目的 ビジネス支援の拠点館として、最新資料の充実、各種ビジネス展示・講座を実施します。	
■事業内容 ①ビジネス関係資料の重点収集 ②ビジネス展示の充実 ③ビジネス講座の開催 ④中小企業診断士によるビジネス情報支援相談会の実施	
■3年間の主な実績 ①ビジネス関係資料の重点収集 毎年度、購入資料の3割強がビジネス関係資料です。 令和3年度 36.8% 令和4年度 35.7% 令和5年度 30.5% ②ビジネス展示の充実 起業展示の分類を改め、より分かりやすく整理しました。内容が相当範囲重複していた複数の分類をまとめました。また、データ上全て「展示1」表記だったものを、起業入門は「展示10」飲食業は「展示11」など、各分類ごとに検索できるように変更しました。 ③ビジネス講座の開催 新型コロナウイルス感染症が落ち着いた令和3年度半ばから徐々に再開しました。 令和3年度 ハラスメント講座、インターネットセキュリティ講座 令和4年度 年金講座、ハラスメント講座、エントリーシートの書き方講座 令和5年度 年金講座、創業セミナー（全3回）、就活×歴史講座、NISA講座 ④中小企業診断士によるビジネス情報支援相談会の実施 毎月第4水曜日、1人1時間×4コマで予約制で起業相談を中心に実施しました。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
①関係資料購入冊数	1,313	1,241	1,140	1,400	81%	B
②展示資料数	758	830	854	900	95%	B
③講座参加人数	12	23	20	35	57%	C
④相談会参加人数	7	10	14	20	70%	C

課題	今後の取組み
購入冊数、展示資料数ともに、目標値を達成していません。 講座等の参加者数についても目標未達だったことから、利用者の関心を高め周知していく取組みが必要です。	新型コロナウイルス感染症拡大前と比べ、利用者の関心が変化しているため、関心度の高めるための新規講座導入を目指します。また、行事の広報・パスファインダーなどにおいて、インターネットのさらなる活用に努めます。

■R3～5 総合評価 新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたビジネス講座を再開することができ、参加者も一定数来ていただけるようになりました。行事アンケートでも高い評価をいただいています。ビジネス相談会の参加者数も徐々に以前の数に戻りつつありますが、目標値には届かなかったため、総合評価を「2」としました。	2
---	---

重点事業報告（角筈図書館 2）

重点事業名	20 学校等との連携
■事業目的 学校や地域団体等と連携し、おはなし会、施設見学、共催事業等、地域貢献に努めます。	
■事業内容 ①近隣の小中学校との連携推進 ②近隣施設での出張おはなし会の実施	
■3年間の主な実績 ①近隣の小中学校との連携推進 (ア)図書館見学 令和3年度 柏木小学校2年生：58名 西新宿小学校2年生：53名 令和4年度 西新宿小学校2年生：19名 令和5年度 西新宿小学校2年生：53名 (イ)職場体験 令和3年度 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 令和4年度 西新宿中学校：2名 令和5年度 戸山中学校：3名 西新宿中学校：2名 西新宿小学校：7名 ②近隣施設にて出張おはなし会 (ア)西新宿児童館 おでかけおはなし会 毎月第二木曜日実施。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止になった回もありました。 令和4年度5月より完全に再開しました。 (イ)西新宿子ども園 おでかけおはなし会 令和4年度より再開（年1回） (ウ)新宿養護学校 令和5年度より再開（年5回）	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
図書館見学受入数	111	19	53	120	44%	D
職場体験受入数	—	2	12	5	240%	A
おでかけおはなし会開催数	4	11	18	12	150%	A
おはなし会参加人数	99	193	327	200	164%	A

課題	今後の取組み
図書館見学受入数は令和4年度から5年度にかけて3倍強に増加しましたが、目標設定に無理があり、以前の水準には達しませんでした。おはなし会などの指標については、学校等への働きかけが実り、目標値を達成できましたが、更に小中学生の図書館利用を増やしていくことが課題です。	子どもたちの自発的な学習を支援するため、西新宿小学校と連携・協力していきます。P4C（こども哲学講座）など、子どもたちが自ら考え、かつ学びの場となるような機会を提供していきます。図書館見学や職場体験を通して図書館の魅力をPRし、小中学生にとって親しみやすい図書館を目指すことで、小中学生の図書館利用促進につなげていきます。

■R3～5 総合評価 図書館見学受入数はまだ回復していませんが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた近隣施設のおはなし会も令和5年度には完全に再開することができました。職場体験受入数、おはなし会開催数および参加人数ともに目標を上回ることができたことから総合評価を「4」としました。	4
--	---

重点事業報告（角筈図書館 3）

重点事業名	13 多様な学習機会の提供 12 魅力あるイベントの実施
■事業目的 常に魅力あるイベントを実施し、区民が集う図書館として、新規利用の取り込みを行います。	
■事業内容 ①一般事業 ②児童行事 ③学習支援関連事業	
■3年間の主な実績 ①一般事業 既存のものとしては、年金講座やハラスメント講座、「角筈まちあるき」などを開催しました。新規のイベントとしては、「創業セミナー（全3回）」「新NISA講座」などを開催しました。 ②児童行事 おはなし会や工作会のほか、季節の行事やこども読書週間に合わせた特別なおはなし会を行いました。中止していた「絵本講座」も令和5年度から再開しました。新規の試みとしては、「親子料理教室」「絵本ライブ」などを開催しました。また、近隣施設との連携事業として、西新宿児童館などへ出張しおはなし会を行いました。 ③学習支援関連事業 自由研究個別相談会、百科事典の使い方講座、小学校へのお出張授業などを実施しました。令和5年度には「東京海洋大学連携子ども向け海洋講座」を実施しました。 「図書館を使った調べる学習コンクール」の全国コンクールでは、「文部科学大臣賞」を2名、「優秀賞」を3名が受賞しました。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
イベント参加人数一般	46	164	196	180	109%	A
イベント参加人数児童	333	890	975	1,000	98%	B
学習支援関連事業参加人数	51	29	75	50	150%	A
新規登録者数	1,127	1,271	1,273	1,300	98%	B

課題	今後の取組み
令和5年度のイベント参加人数については、一般は目標微増、児童は目標微減、新規登録者数も目標微減で、ほぼ目標を達成しました。学習支援関連事業参加人数は目標を上回りました。新型コロナウイルス感染症を経て、当館の利用者層や関心の高いイベントなどにも変化が見られたことから、変化に対応したイベントの提案や広報を検討する必要があります。	利用者の関心が高いイベントは今後も継続して行いつつ、本を使ったボードゲームなど、普段利用が少ない中高生も引き込めるようなイベントを企画、実施していきます。 イベントを精査しつつ、ビジネス関連のイベントを強化し、「ビジネス支援図書館」の復権を目指します。ターゲット層へ向けた効果的な広報活動の模索、SNSの活用、中高生向けのイベントを企画・実施します。

■R3～5 総合評価 新型コロナウイルス感染症の影響により中止していたイベントも令和5年度には再開することができ、以前の状況を取り戻してきました。既存のイベントを行いつつ、新規のイベントを企画・実施し、目標値をほぼ達成したことから、総合評価を「3」としました。	3
--	---

重点事業報告（大久保図書館 1）

重点事業名	12 魅力あるイベントの実施
■事業目的 日本の方と外国の方とでビブリオバトルを開催し「本を通しての国際交流」を実施します。	
■事業内容 ①「ビブリオバトル・インターナショナル・オオクボ」の開催 ②スピンオフ企画である「モノトーク・インターナショナル・オオクボ」の開催	
■3年間の主な実績 ①「ビブリオバトル・インターナショナル・オオクボ」の開催 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響下でしたが、盛況で終えることができました。本を紹介する人は、外国人が3名、日本人が2名。観覧者は20名でした。 令和4年度は、対面とオンラインで開催しました。本を紹介する人は、外国人が3名、日本人が3名。観覧者は20名で、うちオンライン参加が5名でした。オンラインではフィンランドからの参加がありました。 令和5年度は、本を紹介する人が本の内容に合わせて仮装をしました。本を紹介する人は、外国人が1名、日本人が2名でした。観覧者は16名でした。 ②スピンオフ企画「モノトーク・インターナショナル・オオクボ」の開催 「本」を「物」にかえて、モノをトークしあう内容で日本人と外国人との交流を目指しました。 令和3年度 日本人が3名、外国人は1名、観覧者は15名でした。 令和4年度 日本人が2名、外国人は3名。観覧者は8名でした。 令和5年度 日本人が2名、外国人は3名。観覧者は14名でした。参加者同士の歓談会を実施しました。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
本を紹介する人	5	6	3	6	50%	C
観覧者	20	20	16	30	53%	C
モノを紹介する人	4	5	5	5	100%	A
観覧者	15	8	14	30	47%	C

課題	今後の取組み
外国人参加者への周知が課題です。モノを紹介することは、日本語が不得手でも、思いのたけを伝えることができることから、外国人の参加が定着しています。一方、ビブリオバトルは、1冊の本を日本語で紹介することがハードルを高くしている可能性があるため、日本語力のある紹介者を確保する必要があります。	モノトークは、このまま参加者の輪を広げることを継続していくとともに、ビブリオバトルは、ハードルが高いとはいえ、本好きの外国人の方は一定数いることから、SNS等を活用するなど広報活動に力を入れていくとともに、参加者の拡大を図っていきます。

■R3～5 総合評価 ビブリオバトルは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になっていたところから再開しました。再開のアナウンスから地道に開始して、広報宣伝に動きまわりました。再開を待ち望んでいた声もあり、少しずつ人が戻ってきています。モノトークは、趣旨がわかりにくいこともありましたが、少しずつ理解者が増えてきています。今後は、参加者の輪を広げ、日本人と外国人が交流する場を拡大していくことを期待し、総合評価は「2」としました。	2
---	---

重点事業報告（大久保図書館 2）

重点事業名	17 読書環境の充実 8 外国人に対する支援					
■事業目的						
多様な言語でのおはなし会を積極的に実施し「国際理解」を推進していきます。						
■事業内容						
①多言語おはなし会						
②他団体協力におけるおはなし会						
■3年間の主な実績						
①多言語おはなし会						
毎年が多言語おはなし会						
令和3年度 展示のみ。開催回数は2回、参加者数は39名でした。						
令和4年度 新型コロナウイルス感染症以前の形式で開催。開催回数は1回、参加者数は21名でした。						
令和5年度 開催回数は2回、参加者数は44名でした。						
②他団体協力によるおはなし会						
地元のNPO（高麗博物館、みんなのおうち、カイ日本語スクール等）など様々な団体の協力により以下の言語で再開しました。						
開催言語：ミャンマー語、タイ語、タガログ語、アムハラ語、スウェーデン語、スペイン語、チェコ語、ウクライナ語、英語、中国語、韓国語（うち英中韓は大久保図書館職員による）						
令和3年度 10月から再開し、10月から令和4年2月まで5回実施。						
令和4年度 4月から開始し、4月から令和5年2月まで11回実施。						
令和5年度 4月から開始し、4月から令和6年2月まで11回実施。						
指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
参加人数（アラブ）	20	21	28	30	93%	B
（中東3言語）	19	20	16	30	53%	C
（その他言語）	64	135	224	200	112%	A
課題	今後の取組み					
参加者の輪を広げることで、ビブリオバトルなど、日本人と外国人が交流できるイベントへの参加へつなげていくことが課題です。	言語のレパトリーを拡大し、広報・宣伝を活発にしていきます。母語の絵本を所蔵している情報についても、ポスターやインターネットを活用した周知により参加者数を増やし、参加者の輪を広げていきます。					
■R3～5 総合評価						
外国語のおはなし会は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になっていたところから再開しました。再開のアナウンスから地道に開始し、周知を徹底しました。再開を待ち望んでいた声もあり、少しずつ人が戻っていますが、今後も開拓の余地があり、更なる参加者の輪の広がりに努める必要があるため、総合評価は「2」としました。						

2

重点事業報告（大久保図書館 3）

重点事業名	12 魅力あるイベントの実施
■事業目的 「新宿学講座」や「朗読コンサート」など、魅力的なイベントを開催します。	
■事業内容 ①「新宿学講座」 ②「大久保落語」「朗読コンサート」	
■3年間の主な実績 ①「新宿学講座」 令和3年度 「新宿学講座 漱石に学ぶ 良い師、良い友とは」（参加者6名） 漱石の師弟関係や友人関係に焦点をあてた講座を開催。 令和4年度 「新宿学講座 もっと深掘り 漱石『吾輩は猫である』」（参加者16名） 富田綱一郎氏を講師として招き、ユニークな視点から『吾輩は猫である』を語っていただきました。 令和5年度 「『ルポ新大久保』の著者がやってくる！」（参加者25名） 室橋裕和氏を講師として招き、多文化共生の街の現状と今後と課題について語っていただきました。 ②「大久保落語」「朗読コンサート」 令和4年度 「大久保落語の集い 三遊亭好青年見参！」（参加者26名） スウェーデン出身の落語家を招いて、落語の集いを開催。 令和5年度 「大久保落語の集い 三遊亭好青年またまた見参！」（参加者53名） 前年を上回る参加者が集い、大盛況でした。お子さんの参加もありました。 令和5年度 「アイルランドの歌とハープと物語」（参加者22名） 民話や文化などのトークを交えてアイリッシュハープのコンサートを開催。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
参加人数（新宿学講座）	6	16	25	30	83%	B
参加人数（大久保落語）	—	26	53	50	106%	A
参加人数（朗読コンサート）	—	—	22	20	110%	A

課題	今後の取組み
講座や落語、コンサートとしたイベントの参加人数は着実に増えています。今後は、協力者・協力団体を新たに開拓をして、更に魅力のあるイベントを開催していくことが課題です。	地域の利用者と外国人利用者へ理解の輪を広げていくため、協力者・協力団体を新たに加えながら、新しい発想によるイベントを開催していきます。

■R3～5 総合評価 新型コロナウイルス感染症の影響で中止を余儀なくされたイベントもありましたが、以前に近い状況で、魅力あるイベントを少しずつ開催することができたため、総合評価を「3」としました。	3
--	---

重点事業報告（下落合図書館 1）

重点事業名	21 絵本でふれあう子育て支援 17 読書環境の充実					
■事業目的						
「親子で一緒に！楽しくリフレッシュ体操」などで子育て支援事業を実施し、親子の絆づくりを応援します。						
■事業内容						
①子育て支援講座の実施						
②講師による親子向け紙芝居の実施と図書館司書による乳児向け絵本の選び方等の紹介						
③わらべうた遊びや赤ちゃん体操についての資料展示						
■3年間の主な実績						
①子育て支援講座（年1回開催：令和3年度のみ2回開催）						
「親子で一緒に！楽しくリフレッシュ体操」を開催しました。親子のコミュニケーションを大切にしたいベビーマッサージとわらべうた遊び、お母さんの簡単なストレッチを行いました。						
アンケートでも「夫と二人で簡単にできるので良かった」「家でも取り入れやすいので良かった」などの感想をいただき、親子の時間をより充実したものにすることができた。						
②親子向け紙芝居や乳幼児絵本の選び方等の紹介						
講師と連携し、図書館で行う利点のひとつとして、数年前から実施内容の一部に組み込んでいる。						
身体を動かした後、クールダウンの要素も兼ねて、対面でゆっくりと紙芝居の読み聞かせや、絵本の紹介を行った。保護者や子ども同士が落ち着いて顔を合わせるタイミングもあり、交流の場として機能している。						
③わらべうた遊びや赤ちゃん体操についての資料展示						
会場内でわらべうた遊びや赤ちゃん体操に関連する資料を手にとれるように展示している。多くの参加者に展示資料に興味を持っていただき、貸出の増につながりました。						
指標 R3実績 R4実績 R5実績 R5目標値 R5達成率 評価						
開催回数 2 1 1 2 50% C						
参加人数 16 8 8 20 40% C						
課題 今後の取組み						
令和5年度の参加人数は目標値に達しませんでした。						
また、乳児やその保護者を対象としたイベントは、子どもの集中力、食事、排泄のタイミングなど、個々の状況に応じた運営が求められます。						
体操などの内容は実施後のアンケートでも満足度が非常に高いことから、質的内容の維持に努めます。乳児期ならではの悩みを抱える子育て世代を支援するため、参加者同士の情報交換の時間を多く取ることで、さらに充実させていきます。						
令和5年度の参加者が目標に達していなかったため、SNS等を活用し広報周知を徹底します。						
■R3～5 総合評価						
実施回数、参加人数ともに目標値に達していませんが、「リフレッシュ体操」については、年に1回のペースで実施することができました。実施後の企画満足度も高く、利用者から「また実施してほしい」というご意見を多数いただいたため、総合評価は「2」としました。						
2						

重点事業報告（下落合図書館 2）

重点事業名	8 高齢者に対する支援 6 区民の課題解決支援					
■事業目的						
区の関連施設などと積極的に連携し、地域ぐるみの「介護・高齢者支援」を展開します。						
■事業内容						
①高齢者総合相談センターによる認知症サポーター養成講座講の開催						
②図書館職員研修の実施						
③図書館による支援活動						
■3年間の主な実績						
①高齢者総合相談センターによる認知症サポーター養成講座講の開催						
落合第一高齢者総合相談センターと連携し、講座を実施しました。同センターの講師が用意した資料とスライドを見せながら、認知症に対する理解を深めていただきました。アンケートでは「とても良かった」「家族が認知症と診断されたため参加した」「自身も高齢で興味があった」など、身近な問題として取り組む様子がうかがえました。						
②図書館職員研修の実施						
図書館職員の認知症の理解を深めるため、研修として①講座を受講し、参加者は当館職員のほか、区内他館勤務（戸山・角筈）の職員が参加しました。						
③図書館による支援活動						
介護・高齢者支援展示コーナーにおいて、落合第一高齢者総合相談センターより高齢者支援に関連したチラシを取り寄せ、これを設置・配布しました。						
令和3年度 2回実施						
令和4年度 6回実施						
令和5年度 6回実施						
</						

重点事業報告（下落合図書館 3）

重点事業名	2 地域資料の充実 12 魅力あるイベントの実施
■事業目的 特別展示やイベントを通じて、幅広い世代に新宿ゆかりの作家・夏目漱石の魅力を発信します。	
■事業内容 ①夏目漱石をはじめとする新宿区ゆかりの作家・文化人についての別置コーナーを設置 ②戸山・角筈・下落合図書館連携企画展示の実施 ③戸山・角筈・下落合図書館連携企画「漱石さんぽ」の実施	
■3年間の主な実績 ①夏目漱石をはじめとする新宿区ゆかりの作家・文化人についての別置コーナーを設置 夏目漱石を中心に、尾崎 翠、林芙美子、舟橋聖一、吉屋信子、村山知義、その他新宿区ゆかりの文化人についての資料を積極的に収集し、別置コーナーを設置しました。また、漱石山房記念館の情報誌や、近隣の文化施設についてのマップなどを掲示し紹介しました。 ②戸山・角筈・下落合図書館連携企画展示の実施 戸山・角筈・下落合図書館で連携し、夏目漱石に関する展示を行いました。各企画展示については、新宿の文豪・漱石に関心や親しみを持ってもらえるように、ブックレットの作成と配布、POPやオリジナルスタンプ等の作成を行いました。令和5年度は3館でスタンプラリーを実施し、関連資料の貸出促進を図りました。 ③戸山・角筈・下落合図書館連携企画「漱石さんぽ」の実施 戸山・角筈・下落合図書館連携企画「漱石さんぽ」を実施しました。夏目漱石の作品とその背景について研究し、まち歩きイベントとして現地をめぐり、図書館員が解説を行いました。	

指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標値	R5達成率	評価
関連資料受入数	10	9	12	10	120%	A
企画展示貸出数	118	220	236	230	103%	A
イベント参加人数	12	15	11	15	73%	C

課題	今後の取組み
新宿区ゆかりの文化人についての資料収集については、目標値に達するように継続的に行っていきます。また、イベント参加人数については、目標値に達しなかったことから、開催形式などの改善が必要です。	企画展示については、貸出数やブックレット配布数など高水準で推移しています。今後は、資料選定の精査や情報制作物の質の向上を目指します。 イベントについては、オンライン配信を含めた開催形式の見直しを行い、参加人数の増加を目指します。また今後も漱石研究を積極的に行い新しい提案ができるよう努めます。

■R3～5 総合評価

企画展示の貸出数やブックレット配布数などは高水準で推移しています。イベントについては、終了後のアンケートから、高い評価が多数を占めましたが、参加人数が目標値に達しなかったことから、総合評価を「3」とします。

3